

# 笑顔あふれる白石を目指して

白石笑顔未来塾～人「交」密度を高め地域の課題を地域の力で解決するために～

先人たちの想いや願いが込められたわがまち白石市。この地での生活を守るため、昔も今も多くの市民の皆さんが、一生懸命にさまざまな取り組みをされています。

そのような中で「休日には地域の行事のために多くの時間を費やしているが、忙しいだけで地域の問題解決にはつながっていない。会もとうとう解散してしまった」「人口減少や少子高齢化により、地域運営を担う人材が少なくなった」という悩みをうかがう機会が増えました。あなたの住む地域ではどうですか？

☎生涯学習課 ☎22-1343 ☎24-5377



1



2



3

1・2・3 グループワーク、質問の様子。会場中が熱気に包まれました

**行政力の限界が地域の限界にならないために**

3月7日、講師にI I H O E「人と組織と地球のための国際研究所」代表の川北秀人氏を招き開催した、「白石笑顔未来塾」人「交」密度を高め地域の課題を地域の力で解決するために。自治会長、民生委員・児童委員、まちづくり協議会などの各種団体の方、小中学校関係者、行政職員など225名が参加しました。

この日川北氏からは、白石市の人口構成の予測や財政の推移について丁寧な解説いただきました。また、「すでに行政力が限界を迎え、地域力を向上しなければ、今の暮らしを維持することさえ難しくなっている。そこで、住民自らが地域の現状・今後を見据え、暮らしを守るために何をすべきかを『考え・決定し・実践』する必要がある」という指摘がありました。そして、すでにこの事実を真摯に向き合い実践している先進事例もご紹介いただきました。

高齢化に備えるとともに、子どもたち孫たちの世代が誇りを持ち安心して暮らして働ける白石を創造すべき時がきました。

**さらに学びを深める**

前回の勉強会のあと、「このままではダメだ、できることから始めたい」「理解を深めるため再度話を聞きたい」「あの人も聞いてもらいたい！」という声が多く届きました。そこで、8月27日(日)に白石笑顔未来塾の第2弾の開催が決定しました。詳細は広報しろいし8月号でご案内しますので、ぜひご参加ください。

参加者の皆さんそれぞれの力を地域に生かすために、今後の地域づくりの視点や手法について一緒に学び合ひましょう。

**「住民が主役」のまちづくりの推進のために**

白石市は本年3月に小規模多機能自治推進ネットワーク会議に加入しました。先進的に取り組む地域や、今後取り組みを推進していく地域などの情報交換や情報共有を図ることで、市民と行政の協働による、住民が主役のまちづくりをさらに進めていきます。

川北さんに聞いてみました！

Q. これからの自治会運営のノウハウは？

A. その地域の特性を、今後の見通しを含めて把握するため、「人口構成のこれまでとこれから」をまとめ、「中学生以上の全住民調査」を行うこと。そして、各地域の取り組みを学び合う機会を設けること。また、「自治会長・町内会長の引き継ぎ帳」をつくること。



「人と組織と地球のための国際研究所」I I H O E 代表 川北 秀人氏

市民団体のマネジメントや、企業の社会責任(CSR)への取り組みを支援するとともに、NPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりを進め、毎年約60の自治体で、職員や市民との合同研修を担当。地域自治組織の先進地・島根県雲南市の地域自主組織制度を立ち上げ当初から支援し、雲南市から地域自治組織を学ぶ「雲南ゼミ」設立を呼びかけ、全国の自治体が住民自治のあり方を学んでいる。

## じょうかまち 城花町しろいし

まちづくり交付金事業を  
紹介します！

✧ 花と緑、活動から生まれる交流 ✧

☎生涯学習課 ☎22-1343 ☎24-5377

平成29年度白石市まちづくり交付金事業を活用し、花と緑に関する事業を行っている団体の活動を紹介します。花で地域がキレイになるのはもちろん、地域の交流もますます盛んになっています。

### 上郡山自治会館運営委員会



国道113号沿いの花壇にマリーゴールド、サルビア、ヒマワリなどを植えました。広い花壇でしたが、協力し合いながら手際よく植えていき、子どもたちも競い合うように一生懸命取り組みました。参加者は「子どもたちが自由に植栽できるスペースがあって、とてもよかったです。そして、普段なかなかお話しできない地域の方とも交流でき、楽しく活動できました」と笑顔で話してくれました。

### 上原自治会



県道南蔵王白石線沿いの花壇とプランターに、サルビア、紅白のペゴニアを植えました。参加者は「ここを通る方にこの花を楽しんでもらえると思いますが、私たちも毎日ここを通り、自分たちが植えた花がきれいに咲いているのを見るのは本当に嬉しいです」と話してくれました。



### 川原子あじさいを愛する会



ベンチの製作やアジサイの剪定、自作看板の設置などを行いました。「まちづくり交付金の活用をきっかけに、皆さんにゆっくりご覧いただけるようにとベンチ製作にもつながりました」とメンバーの大槻さん。アジサイは挿し木により補植され、満開の時期には通り一面、色鮮やかなアジサイが咲き誇ります(見ごろは7月中旬ごろまで)。

